



オリーブ通信

2016年
11月号
2016.11.26
第181号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

祝 我々が代表・恩地さんが市政功労賞を受賞されました！

11月3日(木)は文化の日。きっと各地で、芸術イベントが開かれていることでしょう。

ここ草津市では市政功労者表彰式が、草津アミカホールで行われました。恩地さんは「まちづくり」の分野で、“多文化共生社会の推進”への貢献が高く評価されての受賞。市長からお祝いの言葉と記念品が贈呈されました。他にも福祉や教育の分野で33人の方が受賞されました。

オープニングセレモニーは琴と尺八による、秋の涼しい風が吹き抜けるような演奏でした。授賞式となると、つい固くなってしまふところ。素敵な演奏のおかげで、心も体も軽くなりました。

(レポート 後藤)



恩地美和

晴れがましい舞台に上げていただきましたが、長年のオリーブの活動あってこそです。これまでオリーブの活動に協力してくれた多くの方々のお顔を思い浮かべながら式典の時間を過ごしておりました。みなさんに感謝いたします。ありがとうございました。

恩地美和

中川先生のへんてこ日本語

76

「マツキヨを右に曲がって」



東京へ出張した際、大学生らしき男性に道を尋ねたところ、「マツキヨを右に曲がって…」と教えられた。筆者は偶然、「マツキヨ」が何の略であり、それが薬屋であることを知っていたので、迷わず目的地に到達できたが、「マツキヨ」と言われてもわからない人はむしろ多いのではないかな。

最近では、薬屋にしる、コーヒーショップにしる、〇〇屋にしる、チェーン店が増えたので、それぞれの固有名詞が薬屋、本屋、喫茶店などに取り換えられようとしている。昔だったら、「たばこ屋の角を右に曲がって」とか「ラーメン屋へ行ってきた」とか言っていたのだが。

しかもチェーン店はあまりに知名度が高くなり、略語で表わされる。こうなるともはやお手上げである。マクド(マック)、セイレ、ファミマ、ユニバなど、そうした文化とは疎遠に暮らす人たちが、たとえ英語の分かる外国人にとっても、新たな外国語を聞いているようなものだ。

以前日本語教壇実習の時、実習生が留学生に「京ファミ」(大学の近くにある商業施設「京都ファミリアー」と導入していたが、もちろん留学生には??。通称語など分かるはずがない。

これまでに幾度となく述べてきたフォリナーと同様、道を尋ねるのは、いわばフォリナー同然であるので、「マツモトキヨシ」という薬局があるので、そこを右に曲がって…」と言ってほしかった。

今ならさながらスマホ(スマートホン)などで道順を調べ、人に尋ねるというコミュニケーション行動を取らないのが普通だろうが、対人コミュニケーションによって、相手の属する社会や集団が垣間見えて面白い。

今日はこのへんで筆(キーボード)を置いて、スタバへでも行くとしよう。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

日本語で外国人とコミュニケーションしましょう！



最近、学園ドラマの中に外国人生徒がいるのをよく見かけませんか？決して特別な存在ではなく、クラスメイトの1人としてです。現在、日本の全人口の1.75%は外国人。皆さんの町内や職場など身近な所にも外国人がいるのではないのでしょうか。私たち日本人と同じ土俵で暮らしている外国人ですが、言葉は同じ土俵ではありません。今回の講義では、日本人が常識とする“ルール”を外国人にどのように伝えればよいのか、ということを教わりました。



ある地区の避難訓練で「はき慣れたくつを履いてきて」と伝えたところ、フィリピンの女性たちが「いつも履いている」ピンヒールを履いて来て、避難訓練どころではなかったそうです。また、東北大震災で「高台(タカダイ)へ避難しましょう」というアナウンスを「高田(地区)へ避難」と聞いた多くの外国人が津波の犠牲になったそうです。では、どのように伝えれば良かったのでしょうか。私たち日本人は“避難訓練＝動きやすい靴”と想像できます。

しかし、習慣の違う外国人がこのような想像をすることは難しいのです。また「高台」という日本語を日常でどれほど使うでしょうか。実物の運動靴を見せたり、「山へ逃げて」と簡単な日本語に変えたりすれば、このような誤解は免れたかもしれませんが。日本のニュースやお知らせ文書は、日本のルールを知らない外国人にとっては非常に想像し難いものだと指摘されました。命に関わる災害の日本語、「余震」「亀裂」「ライフライン」「避難所」などは、「あとで来る地震」「壊れた建物」「水と電気とガス」「〇〇小学校に行く」など、実物や具体的な場所、日時、名詞を言うことでやさしい日本語になるのです。

たくさんの実例を交えながら、とてもユニークに説明してくださり、5分に1回笑いがあるという楽しい講座でした。

(レポート:小春京子)

～参加者の感想～

船見先生のやさしい日本語講座は笑いもありの、あっという間の2時間でした。とてもわかりやすい説明で、日本語教育のことがわからない人にとってもとても興味深かったと思います。(堀野)

やさしい日本語に置き換えるということについて大変勉強になりました。(豊村)

先生の講義は大変わかりやすく楽しかったです。更に新しい情報をいくつも仕入れることができたので、今後の参考になります。(内田)

やさしい日本語にかえるポイントを教えていただいて、とても参考になりました。災害に関する単語の意味をオリーブの生徒さんにも伝えていく機会があるといいと思いました。(前田)



新パネルが完成しました♪

今はオリーブ来ていない生徒さんたちが多く載っていたパネルを一新しました。オリーブで元気に学んでいる生徒さんたちの好きなこと・頑張っていること・日本に来ての感想などなど、いろんなメッセージを書いてもらいました！

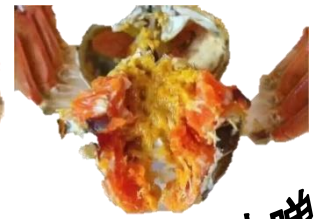
まちセン2階に掲示しています。貸し出しOKなので、イベント等でオリーブをPRする時にも利用してくださいね。

(後藤美子)



オーリー先生たちによるリレーエッセイ⑫

熊川拓磨 「カニの季節」



カニ味噌

皆様、初めまして。9月より参加をさせていただいております熊川と申します。平日は工場勤務をしております、特に趣味らしい趣味も持っていないのですが、美味しいもの食べることが好きです。そのため、今回は今が旬のちょっと変わった美味しい食べ物を紹介させていただきます。それは「上海蟹」。日本の海で獲れる大きなカニに比べて体も小さく、両手の爪には毛が生えておりユニークな外観、一見食べるところが無さそうなカニです。



小さいカニということもあり、カニ肉は食べにくくお世辞にも美味しいとはいえません。食べ慣れないうちは、どうやって食べれば良いかも分かりません。ところがこのカニのカニ味噌そしてカニの卵が絶品なのです。(一般にこのカニは雌雄対で出されますので、カニ味噌と卵、必ず両方楽しむことができます)調べましたところ京都近辺でも上海蟹を楽しむことの出来るレストランがあるようです。カニ肉が美味しい日本のカニ、カニ味噌が美味しい中国のカニ、是非一度食べ比べてみてはいかがでしょうか。



めつちや
きょうさん
しんどい

関西弁講座 ~滋賀 ver.~

ちやう
なんでやなん

大好評の関西弁講座は今回で3回目。第1回目から来てくれている人や、今回初めての人たち10人が集まってくれました。みんな、いつも教科書で習っている標準語が、関西弁だとどんな言い方になるのか興味深そうに学んでいました。

最後にはちょっとした遊び心で、関西弁で会話をつなげるゲームをしました。習った関西弁で「明日お祭りにいかへん?」「ええなあ~。何時に行くん?」など即興で周りの人に話を振っていきました。まんべんなくみんなと話しながら、関西弁の会話を自分で組み立てる練習になりました。これからどんどん、普段の生活で関西弁にチャレンジして行ってほしいです。

(レポート 後藤)

参加者の感想

- とても楽しかった。(佐藤エバ)
- 言い方がおもしろいが、アクセントが難しい。
(沈情-シェン・チン)
- 今日の授業は楽しかったです。それにおもしろかったです。私の日本語が苦手なので、全部まだです。(グエン・ヒウ・クエン)
- とても楽しかった。(島袋マリア)





先月の活動予定(10月)



今月の活動予定(11月)

日本語教室 10/1(M),15,22,29 (4回)
 関西弁講座 10/22 (土) (杉山美・内田・中西)
 まちセン全体会会議 10/13 (木) (田中一美・前田)
 BNN 運営委員会 10/3 (月) (佐野)
 KIFA 文化庁助成事業ネットワーク会議 10/17(月)(恩地)
 ジモトク会議 10/22(土) (恩地・豊村・小春・吉田・中村・KIFA)
 文化庁助成事業「やさしい日本語」講座 10/23 (日) (恩地・小春)
 バス旅行打ち合わせ 10/15 (土) (恩地・内田・小春)
 バス旅行下見 10/30 (日) (恩地・内田・小春)
 FM くさつ出演 10/23 (日) (恩地)

日本語教室 11/5(M),12,19,26 (4回)
 日本語ボランティア講座 11/6,12,20 (恩地・内田・中西・豊村)
 秋の遠足 11/13 (日)
 まちセン施設部会会議 11/10 (木) (田中一美・前田)
 施設部会主催「わくわく科学実験」 11/26 (土) (田中一美)
 ジモトク会議 11/26(土) (恩地・豊村・小春・吉田・中村・KIFA)
 BNN 指導者養成講座

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者/参加予定者または担当者。敬称略

参加人数(10月)

	10/1	10/15	10/22	10/29
生徒	34人	33人	40人	29人
先生	21人	21人	21人	21人

会員の動き(10月)

〈入会〉 加藤志乃さん
 〈休会〉 なし
 〈退会〉 なし
 〈賛助会員〉 なし



お知らせ

ジモトク *あなたの地元、わたしの地元*

相手の地元を知れば、もっと仲良くなる！外国人も日本人も、みんな一緒に“地元”について語り合いましょ♪

12/18 (日) 13時半~16時

内容

- ①外国人5人と日本人3人による My 地元紹介で、「お気に入りの場所」「おいしい食べ物」「見てほしいイベント」を教えてください。
- ②軽食を食べながら、グループトークで交流会。地元の人ぞ知る、おもしろ話が聞けるかも?!
- ③グループで知恵を出し合って、世界物知りクイズで優勝しよう！景品もあります☆
外国語が話せなくても大丈夫！みんな日本語で会話するので「外国の人と話したことない…」という人にも、ぜひこのイベントを紹介してくださいね。

申込 草津市国際交流協会 (Tel)077-561-2322 Mail kifa-japan@coda.ocn.ne.jp



オリーブ会員 中須賀様より

寄付 15,000 円をいただきました。(10/1)

ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



中村さんの季節折々 11月(霜月)

人生は まだこれからと 汗を拭き 大阪マラソン 完走できた

ケンジ

無事に 42.195 kmを完走しました!!

来年はオリーブの先生や生徒のみなさんと一緒に大阪を走りたいな〜。

中村健治

【編集後記】

暑い暑いと思っていたら、いつの間にか冷た〜い秋風が吹く季節になりましたね。ですが 11月13日のバス旅行では、寒すぎず暑すぎず動きやすい一日でした。日頃の行いを見てくれたお日様が頑張ってくれたおかげです。

詳しくは次号のレポートをご覧ください。(yg)